

事務事業名		佐野の越名舟唄全国大会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係	文化振係	担当課長名	浅野良一	
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2	文化財の適切な保存と継承				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2098	一般	2	1	16	佐野の越名舟唄全国大会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H10年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市補助金等交付規則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		一部委託		
事業区分						事業分類		支援事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
主催者は市と佐野の越名舟唄全国大会運営委員会である。委員会に交付金を交付して事業を行う。 また佐野の越名舟唄民謡教室を開催している。 平成27年度より、大会期間を2日間から1日に変更して運営する。 ※佐野の越名舟唄全国大会運営委員会は、佐野の越名舟唄全国大会を円滑に運営するために、関係する団体の役員、市関係者等で構成された組織。当課が事務局を担っている。			(市の活動)佐野の越名舟唄全国大会運営委員会に交付金の支出手続き、運営委員会の開催を行う。 (運営委員会の活動)全国大会を開催するため運営委員会議で運営方法を決定する。 なお大会当日の運営は協働で行う。 ○第17回佐野の越名舟唄全国大会 日時:平成26年9月20日(土)予選、21日(日)決勝、参加者 174名(予選)+61名(決勝)=235名 教室:6月～9月まで4回開催。延べ151名参加							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			案内状発送数	通	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
			舟唄教室	回	4	4	4	4	4	
			広報、宣伝回数	回	6	6	6	6	6	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野市民及び全国の参加者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			佐野市民(住基4月1日現在)	人	123,182	122,582	122,582	122,582	122,582	
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①佐野の越名舟唄全国大会に参加していただくことで、越名舟唄を全国的に地名度を上げる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
②佐野市民に越名舟唄を浸透させる。			出場者数	人	235	235	230	230	230	
③出場者数の県外参加者との割合			舟唄教室	人	157	151	145	145	145	
			出場者中の県外参加者の割合	%	26.2	27.6	23.0	23.0	24.0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
有形無形の文化財を適切に保存保護し、継承して後世に残す。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			伝統芸能の発表の場への参加団体数	団体	10	9	11	11	12	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円	730					
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	730	1,260	800	800	800	
	事業費計(A)	千円	1,460	1,260	800	800	800	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	1460	交付金	1,260	交付金	800
	交付金	千円						
交付金	千円							
交付金	千円							
交付金	千円							
交付金	千円							
人件費	人	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	1,204	1,204	1,204	1,000	1,000		
人件費計(B)	千円	4,685	4,745	4,745	3,941	3,941		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,145	6,005	5,545	4,741	4,741		

事務事業名	佐野の越名舟唄全国大会支援事業	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課	担当係	文化振係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成10年佐野の越名舟唄全国大会を開催し、この大会を新たな観光資源として活用を図るため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	出場者が高齢化している。参加者も例年180人前後で推移している。若年層の獲得のために、発表の部を設けた。 18年度商工観光課から文化振興課に事務移管になった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	参加者の90%は市外(うち県外27.6%)であり、アンケートに2日間の参加は大変だとの意見が多数あった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	例年のPR方法に加え、市内の介護施設等へのチラシ配布を行い、周知拡大を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 17年度事務事業評価会議を経て、商工観光課から文化振興課に事業移管になったもので、当初の観光振興の目的を含めて、市の無形民俗文化財に指定されている越名舟唄を文化振興の観点で行うことにより、目的に結びつくと思われる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 佐野の越名舟唄全国大会運営委員会を組織しているが、主催者は市であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 例年の出場者数による大会規模から、見直しを行い開催日数を1日にしてコンパクトな運営を目指す。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 参加者が高齢化しており2日間では負担の多いことを考慮し、1日で開催することに変更した。変更に当たり、審査委員謝金をはじめ各経費を見直し、最小の経費で開催できるよう算出したため、これ以上削減の余地はない。また、事務量は、変更のため時間がかかると想定し従来と同じ業務所要時間で算出した。今後削減できると思われる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 出場者は参加料2千円を負担しているが、参加料を上げた場合、出場者が減少する状況になると予想されるため、現在のところ負担は妥当なものとする。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 民謡民舞関係者にとっては、重要な位置づけになっている。今回運営見直しを行うことで、大会をコンパクトに運営できるように変更した。今後佐野の越名舟唄全国大会運営委員会が自主運営するか取りやめることになれば事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 開催日数の見直し等、環境整備をすることで、今まで出場を見送っていた人達の出場機会を増やす。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×	出場者の増加につながるよう、開催日数の変更等をPRし、今まで出場を見送っていた人達も取り込めるようにする。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	○		×																			
低下		×	×																			